

2026 年 9 月 1 日

報道関係各位

會澤高圧コンクリート株式会社

會澤社長「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2026 ジャパン」北海道地区代表に選出

12 月 9 日開催の「EOY 2026 Japan」に臨む

會澤高圧コンクリート株式会社（本社：北海道苫小牧市）代表取締役社長の會澤祥弘が、EY Japan が主催するアントレプレナー表彰制度「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2026 ジャパン」（以下、EOY Japan）の 2026 年北海道地区代表に選出されましたので、お知らせいたします。



會澤祥弘社長

EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーとは

「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」は、より良い社会の構築を目指し、目標に向かってまい進するアントレプレナーの努力と成功をたたえる国際的な表彰制度です。

世界約 80 の国と地域で展開され、日本では 2001 年に「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパン」がスタート。2026 年で 26 年目を迎え、これまで約 300 名のアントレプレナーを紹介・表彰しています。

本年の北海道地区代表に選出された會澤社長は、12 月 9 日に東京で開催される「EOY 2026 Japan」に臨みます。

今回の候補者の発掘、推薦および書類選考は、EOY Japan の趣旨に賛同するボランティア・メンバーによる推薦部会の支援のもと、アントレプレナーが社会にもたらした長期的価値などを中心に、「アントレプレナー精神」「パーパス」「成長」「影響力」の 4 つの審査基準に基づいて実施されました。

「コンクリート×テクノロジー」で、成熟産業の価値創造に挑む

會澤祥弘は 2008 年に 3 代目代表取締役社長に就任して以来、「コンクリート×テクノロジー」を軸に経営改革を推進してまいりました。

自己治癒コンクリートをはじめとする先端マテリアルや脱炭素ソリューション、コンクリートに電気を蓄える「蓄電コンクリート」、エンジンドローンを活用した防災技術や空中積層造形など、従来のコンクリート産業の枠を超えた技術開発と社会実装に取り組んでいます。

今回の北海道地区代表への選出を、これまでの挑戦をさらに前へ進める機会と捉え、今後も持続可能な社会の実現に向けたイノベーションを推進してまいります。

會澤祥弘 プロフィール

1965 年、北海道静内町（現・新ひだか町）生まれ。中央大学卒業後、1988 年に日本経済新聞社に入社。東京編集局流通経済部、国際一部、ニューヨーク特派員などを経て、1998 年に會澤高圧コンクリート株式会社に入社。2008 年、3 代目代表取締役社長に就任。

「コンクリート×テクノロジー」を軸に経営改革を推進し、先端マテリアル、脱炭素ソリューション、エンジンドローンを活用した防災、空中積層造形などの技術開発・社会実装に取り組む。著書に『老舗イノベーション』（幻冬舎、2021 年）など。